



NO.

いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

聖天さまと大仏さま

住職 平田真純

まるで空や天井を見上げるかのような大きな大仏の御像は、全国各地に造立されていますが、なかでも日本を代表する大仏さまといえば、奈良東大寺の大仏さまでありましょう。こちらの大仏さまは、「るしやなぶつ盧舎那仏」といって、この宇宙すべての存在、はたらきを表す仏さままで、密教における「びるしやなによらい毘盧遮那如来」「だいにちによらい大日如来」と同義であります。広大無辺な宇宙を表現するために、高さ十四・七メートルにおよぶ大きなご仏像を造立されたのでしよう。仏法＝宇宙の真理＝正しい道理という方程式を人々にわかってもらおう、感じてもらうのが宿願であったのだと思います。

この巨大なご仏像を目前にすると、ともすると私たち凡人がしょうてん聖天さまに祈願していることなど、いかにちっぽけでとるに足らぬことかと感じることもあるかもしれません。しかし「こんな小さなことにこだわったりしている場合ではない、もっと大きな心、大きな眼を持たなければならない」と決心したところで、いざ

となれば、それは遙か遠い目標でしかなく、現実の厳しさに埋没してしまうのが私たち凡人でありましょう。現実に生きる私たちは、大仏さまのスケールに感動し、まずは大きな存在があることを認めるだけでも良いかもかもしれません。いきなり背伸びをして理屈に走ったりするよりも、目の日常を、聖天様や観音様とともに生きることには有意義なことであり、決してスケールの小さいことではありません。

身近な願い事の裏には、大きな世界が広がっています。むしろ目前のことを通して、少しずつ世の中の真の道理に気づいていくのが自然の流れではないでしょうか。

その意味で、同じ仏教という世界の中、聖天さまと大仏さまの間には、まったく差別がないといえます。

聖天さまが大日如来のけしん化身であるといういわれには、このような因縁があるのであり、聖天様を信仰していると、知らず知らずのうちに良い方向へ導かれているという不思議な功德は、ここに秘密があるのだと思います。そしてまたこの二尊の関係に限らず、すべての神仏は一如であるといえましょう。

待乳山便り

お正月 大根まつり 報告

今年の三が日は暖かく過ごしやすい天候に恵まれ、大勢の初詣の方で賑わいました。

お参りの方は本堂内に入り、世話人よりお屠蘇の接待を受け、今年一年の開運のご利益を頂きました。

多くのご参拝の方が大根をお供えし、三が日では二千本以上の大根がお供えされ、大根まつりの準備も整いました。一月七日にはお正月にお供えされた大根を、風呂吹き大



根にして皆様に振る舞う大根まつりが執り行われました。

午前十一時より本堂内において、僧侶の大きな掛け声と共に六百巻の経本を次々に転読する大般若法要が執り行われ、多くの方がご参加されました。

法要終了後、今年一年の無病息災、身体健全を願い午前九時から続いていた列が動き出し、ふるふき大根が振る舞われました。

例年になく珍しく雨予報で天気心配されましたが、大根まつりの終わる午後一時過ぎまで大きく天気が崩



れることなく大盛況のうち

に終了いたしました。

大根まつりの様子はテレビの報道番組でも取り上げられ、報道陣よりインタビューを受けている参拝者の様子も伺えました。本年も去年に引き続き、神楽殿にて西川流家元の西川箕乃助様による奉演舞踊が行われました。

多くの方が神楽殿の周りに集まり、奉演舞踊に魅入っております。



お宮参り

十二月二十一日、武藤善ちゃんのお宮参りが行われ、御宝前にてお加持を受けられました。尊天様のご加護で健やかに成長されることでしょう。

御奉納

① 松本達郎様より参道入口の大提灯を二張御奉納いただきました



② 左記の八名より、正月に本堂、信徒会館入り口、神楽に飾る高張提灯をご奉納いただきました。

- 小林敦子
- 前山和宏
- 麻布いがた
- 佐藤安津子・幸恵
- 三崎眞之助
- 榎セレモニー鈴正
- 久保田雅大
- 西川晃敏。



十年ぶりの新調で、令和最初の正月を新しいちやうちんで迎えることが出来ました。(敬称略)

二月御縁日大法要・行事紹介

節分会 二月三日(月) 午後三時

節分札一組 五〇〇円

福豆 一合枮 五〇〇円 一升枮 三、〇〇〇円

毎年恒例の節分会大法要

を厳修いたします。

浅草寺一山をお招きして

本堂内で一年分の般若心經をお称えする中、年男の「福は内」の掛け声で、本堂内や境内で福豆、福餅などを撒きます。

当山は聖天様のご守護で悪鬼がおりませんので、「鬼は外」とは称えない風習となっております。

参道ではお神酒が無料でふるまわれます。皆様お誘いあわせの上、ご参拝ください。



浴油講 二月二十日(木) 午前十一時

講金一、五〇〇円

(奉納) 胡麻油一斗缶 一五、〇〇〇円)

浴油祈禱とは、聖天様をご供養する作法の中で最上の秘法です。

当山では皆様の願い事を成就させるため、毎朝この浴油祈禱を厳修しております。

その浴油祈禱で使用する最上質の胡麻油を講金の一部から充當いたします。

講にお申し込みの方には、浴油講のお守りとお供えされた胡麻油をお授けいたします。

また、胡麻油一斗缶のご奉納も受付しております。

法要終了後、大広間に於いて泉水堯有師による

「声明について」の法話がございます。

ご真言②

前回に引き続き三部惣呪のご真言からご説明いたします。

三部惣呪

オンアサバソワカ

三部とは仏部、蓮華部、金剛部の仏様の三種のグループで、それぞれ身・口・意に対応します。

身口意は三業と言ひ、人間の煩惱を三種(身体的行為、言語表現、心意作用)に分類したのですが、密教においてはこの三業が仏のはたらき(三密)と本質的には同じであるとされております。

当山の僧侶は大般若法要の始まりに必ず護身法と呼ばれる作法を行います。護身法は、三業を清める印を結び、三部の仏をそれぞれの印で加持する作法が含まれます。

また、浴油行者は入堂時、合掌(行為)・舌端(言葉)・心上に、悟りの象徴とされている満月を觀想し、それぞれに仏部、蓮華部、金剛部の仏様の姿を現します。

行い、言葉、心に起こる煩惱の力を正しい方向に転化させるご真言と言えらるでしょう。

諸天惣呪

オンロキヤロキヤカラヤソワカ

諸天は十二種の天部の仏様「帝釋天・火天・閻魔天・羅刹天・水天・風天・多聞天・伊舎那天・梵天・地天・日天・月天」を表します。

それぞれの仏様が方角を示しており、自然・環境との調和により災厄を防ぐご真言とも考えられます。

十六善神

南無般若十六善神

十六善神は、般若經を守護する十六の善神で、十二神将(薬師如来の眷属)に四天王を加えたものです。

当院では、本堂外陣からは見ることはできませんが、御本尊の右脇に十六善神の掛け軸を祀っております。

また、大般若法要中に導師が唱える法則でも「十六善神」は登場します。

一字金輪仏頂 ボロン

仏様のお智慧そのものを仏格化したものが一字金輪仏頂とされており、すべての仏・菩薩の功德はこの一字金輪仏頂尊に帰すると言われております。

法要の最後にお唱えする他、当院でお授けしているお守りの裏にもボロンの一字の印が押されております。

仏様のお智慧でお札やお守りを罪障や穢れから守り、聖天様のご利益をいつまでも受けられるようになさっていただいております。

大般若法要の真言についての解説は以上になりますが、皆様の信仰の一助になれば幸いです。

二月行事予定

御縁日大法要

二月三日(月) 午後三時 節分札一組 五〇〇円也

僧侶が一年分のお経をお唱えする中、年男による豆まきが行われます。

福枳(福豆付) 一升枳 三、〇〇〇円 一合枳 五〇〇円

浴油講大法要 二月二十日(木) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

毎朝の浴油祈禱に使う胡麻油をお供えします。

朝まいり会 二月一日〜七日 午前八時から八時半会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法を行います。

日曜勤行 二月九日(日) 午前九時 参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会 二月九日(日) 午前十時/午後一時 会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましよう。

坐禅の会 二月二十二日(土) 午後五時〜七時 定員二十名 参加費 五〇〇円也

本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要 二月二十五日(火) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

三月の行事 御縁日大法要

稻荷祭 三月四日(水) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

婦人講 三月二十日(金) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である

浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料 別座祈禱 壺万円(一週間)

浴油祈禱 三千五百円(二週間)

華水供 五百円(一日)

法要案内 当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円 沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円 所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壺万円 当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。

ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp またメールをお送りください。